



県内 Stage2 実施中! 新型コロナウイルス感染症

令和3年5月7日

富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和3年第17週分・4月26日～5月2日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、5月2日時点で602,862例となり、10,361例の死亡が確認されています。

全国の新規感染者数(図;折れ線グラフ)が3月下旬から増加し続けている状況を受けて、4月23日に4都府県を対象として3度目の緊急事態宣言が発出されました。また、まん延防止等重点措置が現時点では7県で実施されています。しかし、依然として新規感染者数は減少に転じていないため、政府は5月7日に緊急事態宣言の発令期間を31日まで延長し、さらに愛知、福岡両県を追加する方針を決定しました。また、まん延防止等重点措置も31日まで延長し、北海道、岐阜、三重両県を追加する方針となっています。

県内では、今週103例の新規感染者が報告され、5月2日時点の累積感染者数は1,350例になりました(図;棒グラフ)。また、従来株に比べて感染性が高いとされる変異株(N501Y)の県内における累積検出数は234例となりました(5月5日時点)。また、ゲノム解析を行ったN501Y陽性の47例は全て英国由来変異株(VOC1)でした。新規感染者数や入院者数の増加が継続していることから、県は4月23日より県内の警戒レベルをStage 2へ引き上げています。Stage 2では、夜間の飲食店では会話時のマスク着用と2時間以内の利用、カラオケ等感染のリスクの高い行動を徹底して回避することが求められています。感染拡大を防ぐため手指消毒やマスク着用、十分な換気を行う、対人距離を保つといった基本的な感染対策を徹底し、これまで以上に高い緊張感を持って行動することが肝要です。

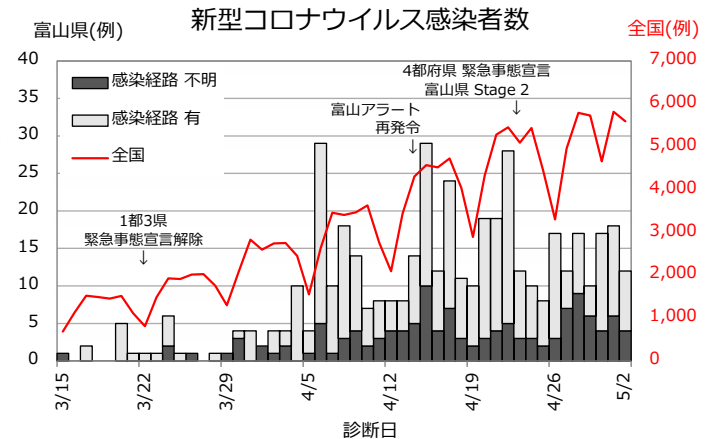
発熱等の症状があり医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691;24時間対応)にご連絡ください。

《全数報告の感染症》
新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 103件
二類感染症 結核 3件 (①第15週診断分:70歳代、男性
②③ともに第16週診断分 ②40歳代、男性 ③70歳代、女性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	RSウイルス感染症	5.45(↑)	5.24
2位	感染性胃腸炎	2.83(↓)	3.90
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.03(↑)	1.00
4位	突発性発しん	0.31(↑)	0.21
5位	咽頭結膜熱	0.21(↓)	0.41
6位	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.20(↑)	0.00

RSウイルス感染症が増えています!
3歳未満の幼児に多く、症状は発熱、鼻汁。2~3割は気管支炎、肺炎に進展。生後6ヶ月以内、または基礎疾患があると重症化しやすく、注意が必要です。



○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第17週 令和3年4月26日～令和3年5月2日）

分類	疾患	今週報告分（第17週）							累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	5	13	17	5	58	5	103	36	96	134	36	455	29	786
二類感染症	結核								7	3	9	6	15		40
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症										2		1		3
四類感染症	E型肝炎								1				1		2
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症									1	2		1		4
五類感染症	ウイルス性肝炎								1						1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1	1	1		3
	急性脳炎										1				1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										1		1		2
	後天性免疫不全症候群								1				1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1				1
	侵襲性肺炎球菌感染症								1		1		5		7
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒									1	2		10		13
	破傷風										1				1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5				5
	RSウイルス感染症	15	22	55		66		158	65	36	117		448		666
		3.75	7.33	6.88		6.60		5.45							
	咽頭結膜熱		1	2		3		6	17	23	76	1	53		170
			0.33	0.25		0.30		0.21							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	5	9		13		30	43	27	363	65	131		629
		0.75	1.67	1.13		1.30		1.03							
	感染性胃腸炎	19	6	14	2	41		82	292	162	225	42	433		1,154
		4.75	2.00	1.75	0.50	4.10		2.83							
	水痘		1		1			2	1	5	13	4	18		41
			0.33		0.25			0.07							
	手足口病								1		5	1	2		9
	伝染性紅斑			1		1		2		1	5	1	7		14
				0.13		0.10		0.07							
	突発性発しん		1	4	3	1		9	21	15	61	25	52		174
			0.33	0.50	0.75	0.10		0.31							
	ヘルパンギーナ								15						15
流行性耳下腺炎								2	2	3	2	2		11	
流行性角結膜炎									1					1	
細菌性髄膜炎												1		1	
無菌性髄膜炎												1		1	
マイコプラズマ肺炎									1	5	1			7	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1						1	1						1	
	1.00						0.20								
インフルエンザによる入院患者（※2）			1				1			1	7			8	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 その他は県外、居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週（8月31日）～の集計です